

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立益田清風高等学校 事業実施報告書⑤

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び

II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成

III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築

IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成

V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 岐阜県 】

1 実践テーマ	【 II 】
2 実施対象者	益田清風高等学校 各部活動 生徒
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ①教科名 () ②行事名 () ③その他 (普段の率先した清掃活動) (2) 地域における活動 ①イベント名 () ②その他 ()
4 目標 (ねらい)	普段の公式大会や練習試合において、大会運営等に関わっておられる「支える」人たちの気持ちを体験することで、プレーヤーとして感謝の気持ちやマナー、ボランティア精神の育成につなげる。
5 取組内容	硬式野球部 ・校内の落ち葉拾い ・積雪時の校外（商店街）の除雪 ・集会時の片づけ 女子ソフトテニス部 ・通学路のゴミ拾い（毎朝） 女子バレー部 ・体育館のワックスがけ ・体育館周りのゴミ箱の収集 ・集会時の準備 剣道部 ・武道場のワックスがけ ・体育授業で使用するゼッケンの洗濯 陸上競技部 ・トイレ掃除（毎朝） ・積雪時の校内外の除雪 ・校内の落ち葉拾い ・溝の泥あげ掃除 ・公園のゴミ拾い インターアクト部 ・校内の清掃活動 ・駅の清掃活動 ・校外の独居老人宅への訪問 吹奏楽部 ・老人ホームへの慰問と演奏

6 主な成果	普段の学校生活において、部活動の生徒が中心となって日頃の挨拶は当然、様々な活動を自主的に行っていることが通例となって学校活動を支えている。 今回あらためて、この活動を取り上げ、生徒に意味指導をする中で部活動への帰属意識が高まると同時に、自分たちの取り組みがスポーツ（試合）の結果以外のところで行内外の多くの人々に認められ言葉をかけてもらえることに繋がっていることを認識することができた。 このことは良い循環を生み出し、生徒の心の中に奉仕の精神が芽生え、人のために行動できる習慣へとつながることができた。
7実践において工夫した点（事業の特色）	良き伝統として自然発生的に生まれた活動ではあるが、各部活動が奉仕の精神の意識を持てるように言葉かけ等による支援を意識的に多くおこなった。
8主な課題等	特定の部活動の枠をこえて、多くの部活動が地域に貢献できる取り組みを実践していける教員側の意識の高揚と生徒の責任感を育む体制づくりが課題。
9来年度以降の実施予定	良き伝統として継続して実施